第 95 号
（2022 年 3 月）

エル・エンジェルボランティア便り

発行所
NPO　エル・エンジェル国際ボランティア協会
〒243-0406
神奈川県海老名市国分北二丁目１７番１６号
tel 046-236-0001　　fax046-236-0002
http://www.l-angel.or.jp

初春

令和四年の歌会始で天皇陛下は「世界との行き来難かる世はつづき窓開く日を偏に願ふ」とお詠みになられました。

どんなに通信が発達しようとやはり直に会えることは喜ばしいことです。インドとの交流も深く往来がスムーズにできる日が待たれます。

当協会は3月末を年度末としていますが、次年度もご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

☆寄附金を戴きました

社会福祉法人「進和学園」が運営する福祉7施設の利用者らで組織される**「しんわ本人自治会連合」**様より令和３年12月24日平塚市長室にて今年も寄附金を戴きました。

施設の関係者や家族らに呼びかけて集められた貴重な募金を１９９９年２月から２０２１年12月まで全23回に渡り**３１０万円**の多大な御寄附を戴きました。

深く感謝申し上げます。

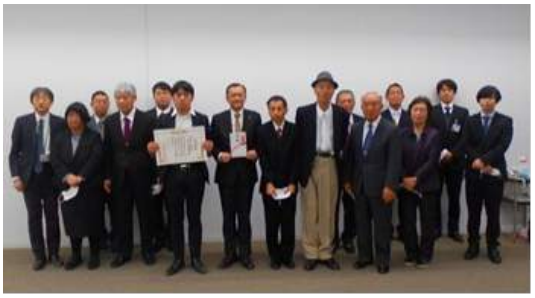
愛は光なり
愛は全てを活かす

２１年度事業報告

◎国内事業
○災害支援活動
○青少年育成事業継続
○福祉事業
○活動に必要な支援・確保
○「ボランティア便り」の発行・配布

◎インド事業
○エル・エンジェルチャイルドホーム 運営継続
○教育支援

皆様のご協力で上記の事業を行うことが出来ました。
心より感謝申し上げます



贈呈式（平塚市役所にて）

☆青少年育成事業

○第七回エル・エンジェルサッカー大会

昨年11月厚木市主催サッカー1年生大会が、河川敷のサッカー場で開催されました。

当日は、時折吹く川からの風も子ども達の動きに影響を及ぼす程のものではなく、又コロナ感染者も激減していた為、マスクをつけずにプレーする事が出来ていました。

全６チームの参加でしたが、数名の年中園児が試合に加わっており、園児らしい微笑ましい動きや、１年生とは思えない機敏なボールさばきを見せる子もいて、とても楽しい大会となりました。

並べられたトロフィーやメダル、参加賞を食い入るように見つめ、勝敗が決まる前から手にしたかのようにはしゃぐ無邪気な子ども達の姿がありました。

メダル　いいね！

大会終了後に当協会の役員より子ども達に向けてメッセージがありました。

「自分の周りに寂しそうにしている友達がいたら是非声を掛け、一緒にサッカーをしようよと言って下さい。」と伝えました。

スポーツを通じて他者を想いやる心を育んで欲しいと願う当協会の強い想いが、子ども達の輝かしい未来へと繋がっていきますように。

○エル・エンジェル杯
ミニバスケットボール大会

12月4日(土)海老名総合体育館で、第41回海老名市協会杯兼エル・エンジェル旗大会が、コロナ禍細心の注意の元、開催されました。

男子・女子各7チームがAブロックはリーグ戦・Bブロックはトーナメント方式で熱戦を繰り広げました。優勝チームにはエル・エンジェル旗・優勝カップ・盾・賞状・金メダルを、準優勝には盾・賞状・銀メダルを、3位には賞状と同メダルが授与されました。

女子　優勝チーム

男子Aブロックの決勝戦、接戦の試合が終了すると優勝チームの男子が泣いていました。表彰式の間もチームの子達が、手や肩に手を添えたり、声をかけたりして励ましていましたが、終わってもずっと泣いていました。彼にとって優勝がそれほど嬉しかったのでしょう。彼だけでなくチーム全体、そしてそれを応援する保護者の方々、皆さんの努力の結果です。

見守る私達も感動しました。

彼の涙がこの大会に出席した多くの子ども達に考えるきっかけを与え、将来を変えるかも・・・そう思え、青少年育成事業の重要性を痛感しました。

○エル・エンジェル杯
ドッジボール大会

12月26日、海老名市中新田小学校に於いて市内の26チームの熱戦が繰り広げられました。当日は全国的な寒波と大雪警報が出されていた日でもあり、空にかかる雪雲から時々チラチラと雪が舞っていました。着込んで会場に向かうと海老名市は青空に太陽が出ていて元気な子供たちを応援してくれているかのようでした。とは言え風は刺すように冷たい中、物ともせずに動き廻る子どもたちから元気をもらい試合に引き込まれて行きました。攻守共に活躍するスーパー女子。

身体の小さい子がコートに一人残って粘り強く戦う姿。仲間のミスを「ドンマイ、ドンマイ」と労う優しさ。どれも感動でした。

全日本代表の永井選手を囲んで

ドッジボールのメジャーさも知らず、全日本の選手がいる事すら知らなかったのですが、永井選手という代表選手が子どもたちと交流されていました。憧れの選手を前に笑顔と歓声の中、写真撮影や言葉を交わしたり、それはそれは嬉しそうでした。きっと頑張る力の目標が出来た事でしょう。嬉しい場面に出会わせてもらいました。当協会の挨拶にもあったように、子どもたちが声をかけ合いひとりでも多くスポーツを通して仲間作りが出来たなら幸いと思いました。

緊張　一瞬

チームの中でも
優秀賞

☆回想録記

○レース編み　そして意識改革

（M・O）

村の女性を対象にした支援の1つとしてレース編みを教えるのをさせて頂きました。

言葉が分からないということもあり、会長にアドバイスをいただき、分かりやすく教えやすいものということで、本を見ていくつか編んでみた中から、シンプルイズベストということで、くさり編みと長編みだけで編むことができる、コースターくらいの大きさの五角形で中に星柄があるモチーフに決まりました。一人ずつ渡せるように、編み方のページのコピー1枚レース玉1個編み棒1本をビニール袋に入れたものを準備しました。

何度も話し合いが繰り返されました

そして、村まで大丈夫かな、途中で動かなくなったらどうしよう・・、と心配なくらい年代物のタクシーでがたがた道を約1時間半、村の入り口辺りに到着、そこから急な坂道を200メートルほど息切れしながら上がった辺りに学校建設予定地があります。

初めて村に行ったときは坂道の上の崖の下でポツンとボランティア2名は、人の姿も見えず、どうしたらいいのか困っていると、1人の女性が坂道を登って来ました。ランマヤさんという若いお母さんで説明会の時も熱心に話しを聞いていた方でした。“えー！ほんとにー？”と感動していると、村人がむしろのような敷物を持ってきてくれました。

以前は数のかぞえ方も分からぬ村の人たちでしたが、この時には、エク(1)、ドゥイ(2)とネパール語で編み目を数えながらコピーした絵図と照らし合わせて、実演しながら説明しました。彼女に刺激されてなのか少しずつ参加者が増えました。ここで困ったのが、白いレース糸なのに、編んだものは汚れてこげ茶色になっていることです。まずは手洗いから始めなければと思い、石鹸とタオルを渡して手を洗ってもらおうかと考えましたが、文化も生活環境も違う国でそんなことを言って何かトラブルになって国際問題にでもなったら大変だと思い、会長にお尋ねしてみました。(電話は料金が高いのでファックスでの連絡相談が主でした) そして大丈夫ということで。通訳の人が来た時に石鹸の使い方と、製品は正確で美しく作らないと売れないということを説明してもらいました。村の女性達は笑顔で気持ちよく実行してくれました。当時女性の日当は約30ルピーでした、レース編みは1枚パーフェクトにできれば、15ルピーです。

村の家々

畑仕事は雨の日はできませんが、編み物なら家で赤ちゃんの世話をしながらできます。ランマヤさんは一生懸命に頑張ってレース編みで何年かして小さいながらも自分の家を建てることができました。

日雇いの仕事しかなく一生、貧困から抜け出すことは考えることもなく今まで諦めていた村の人だったのに頑張れば家を建てることもできるという、夢や希望を持つことができるようになり、そののち建った技術センターにおいても基本であるところのレース編みで学んだことをしっかり守ってくれ丁寧に作品を作ることをしてくれました。

追伸

ある暑い日のこと、いつものように何人かの村の女性とレース編みをしていると、家族の人らしきおじいさんがきゅうりを半分に割りお盆にのせて持ってきてくださいました。レース編みで家計が助かっているのでしょう遠慮がちに出される様子に感謝の気持ちが伝わってきます、これを断ったらせっかく築いてきたものが・・しかし・・、相棒ボランティアは覚悟を決めたのか、ガブリと・・、清水の舞台から飛び降りるつもりで私もガブリと・・。腹痛になっても村にはトイレはありません。しかし天に守られたのか何事もなく、その日も無事終了しホテルについたときは本当にホッとしました。

ハダシで下着もつけて
いませんでした

～ こころ ～

一枚の写真

私は医療従事者です。ある日患者さんのお母さんが写真を見せて下さいました。それは私が20代の頃に1歳の患者さんを抱っこしている写真でした。月日は流れて33年後の現在、タイムカプセルを開けたかのように時は戻り「嫌だ～恥ずかしい」と若い日の自分に驚きました。しかしその後、その写真をずっとみていると様々な事が思い出されてきました。あの頃は何を思って仕事をしていたのか、何を悩んでいたのか、どんな自分になりたかったのか等々。今の自分はあの頃の自分に比べて成長をしているのだろうか・・・。

ただただ眩しいばかりの初々しい自分がそこにありました。仕事に行くのが楽しくて子どもを愛おしく嬉しく思い抱いている自分の姿に何かを突き付けられた気もしました。20代の私、確実に生きていた自分がいました。はあ～今まで何をしてきたのやらと嘆く自分もいました。多くの時間と多くの機会に恵まれながら、それを有効に活用しなかった・・・これがまさに後悔先に立たず。もっともっと可能性を秘めた自分がそこにはいたのに！それでも今私はここにいます。そして抱っこしていた子は今や30代になり、今も時々隣にいます。彼女の人生に私が関わっている。誰かの人生に関わっている自分がとても嬉しかった。誰かの記憶の中に残っている自分が嬉しかったと言う方が適切かも知れません。

（K・M）

○ “共に助け合いたい”それが私たちの願いです。ご協力、よろしくお願いいたします。

○ 支援金振込先　郵便口座　口座名　特定非営利活動法人エル・エンジェル
記号　１０２９０　口座番号　６８１０７１９１

ゆうちょ銀行　口座名　特定非営利活動法人エル・エンジェル
店名　（０２８）　店番　（０２８）　普通預金　口座番号　６８１０７１９

三菱東京ＵＦＪ銀行　口座名　特定非営利活動法人エル・エンジェル国際ボランティア協会
海老名支店（４０９）　普通預金　口座番号　０９６６５９７

☆石巻の子ども達へ

○クリスマスプレゼント

お好きなものを買っていただこうと商品券、チョコレートとクリスマスカードを送らせていただきました。

子ども達に日々お世話してくださる保護者の方々へ感謝の気持ちを込めて日本製のエプロンを同梱させていただきました。

Hちゃんのお婆様からお礼の電話をいただき、Hちゃんも元気な声を聞かせてくれました。

Hちゃんは卓球教室に通っているとのことで水谷隼選手のサイン入りのトートバッグと顔写真入りのファイルを送らせてもらい、とても喜んでいただきました。

お婆様は毎回丁寧にお礼の電話をくださりHちゃんの近況をお話しくださいますので成長がよく伝わります。

☆支える会より

皆様からご寄付いただいたお品を、ネットのメルカリ・ヤフオク・ラクマ・ペイペイフリマに出品し販売しました。出品手数料と送料を除いての金額が1年間で、**８４，７３９円**でした。

コロナが落ち着いた時期に妹とリサイクルショップにも持ち込み、買い取ってもらいました。

買い取りできない物は持ち帰って、他のお店に持っていき買い取りしてもらい、更にダメだった物は最後に量り売りのお店に持って行き無駄なく買い取ってもらいました。これを繰り返して買い取り額が1年で、**７７，５０２円**でした。

ＳＤＧｓの活動の一助にもなります。

ご協力をいただきましてありがとうございます。

○編集後記

桜も固いつぼみが膨らみ春を感じます。自然のいとなみは変わることなく淡々と続きます。

11・12月に行われた子ども達の競技は、寒さも忘れる程でした。

低学年の必死さ、高学年の迫力、コーチ達の熱気、エル・エンジェル杯を充分楽しませてもらい、エネルギーが補給された気分です。身体を存分に動かすことで心もからだも元気で健やかであることを思います。

（Ｓ・Ｉ）